

事業名	各種講習会費			調書番号	111
細事業名	農工商・理科視聴覚実習助手認定講習会費	財務コード	155303		
担当部課室	教育委員会 部 高校教育 課 指導 担当 (内線)	8305			

I 事業の概要

実施期間	始期 S41 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	農工商実習助手 理科・視聴覚実習助手	・教職員として職務の遂行に必要な修養を身に付けるとともに、専門的な教養の向上を図る。 ・実習教諭免許取得に必要な単位を修得する。 ・主任実習助手の任用に必要な単位を修得する。	・農工商・理科視聴覚教育の充実 ・教員の資質向上、授業力の向上
内容	○実習を担当する教職員を対象とした、資質向上を目的とした講習会を実施する ・農工商実習助手に対しては、実習教諭免許取得に必要な単位認定講習とする。また、理科・視聴覚実習助手に対しては、主任実習助手に任用するための単位認定講習とする。		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	講習会参加人数	目標	15名	20名	20名	20名	20名	20名
		実績(見込)	19名	21名	25名	20名	14名	14名
		達成率	126.6	105.0	125.0	100.0	70.0	70.0
		達成区分	a	b	a	b	c	c
成果指標	単位修得者数	目標	19名	16名	22名	17名	11名	7名
		実績(見込)	19名	16名	22名	17名	11名	7名
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		84	84	83	84	84	100	98

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	c	評価	
成果指標	b		講習会参加者のうち、単位修得希望者については全員が修得できている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

関係者の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (次の通り)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	受講者のニーズに応じた科目の設定により、講習会参加者の増が見込める		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (次の通り)		
その他	説明	受講者の増加が見込めるような、科目の設定		
見直しの必要性	有	実習助手の資質向上と、実習教諭免許取得・主任実習助手任用に必要な単位認定のための講習会とするため、免許状の取得状況等を把握していく必要がある。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	農工商実習助手の免許取得に必要な単位認定の講習となるので、必要性は高い。また、免許取得者の受講者もいることから、資質向上という目標も達成できている。今後は受講生のアンケート結果や免許取得状況を把握した上での講習会とすることにより、活動指標の向上に繋げる必要がある。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。